

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	遠野地域福祉事業所　ぐんぐんはうす			
○保護者評価実施期間	R7年2月3日 ～ R7年2月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	R7年2月3日 ～ R7年2月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年　 2 月　 2 8 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の情報共有はしっかりできている。	毎日のミーティング、月1回の現場会議で、小さなことでも情報を共有するようにしている。	
2	職員の得意を生かし、児童の支援にあたっている。	保育士、教員の経験のある職員のスキルを活かして、児童の興味関心、伸ばしたい力に合わせた支援を行っている。	それぞれの職員の役割分担を明確にして、支援にあたる。
3	市の子育て支援課、専門相談員と連携してアセスメントを行い、支援計画に役立てている。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止等のマニュアルを職員、利用家族に周知し、発生に備えた訓練をすることが不十分だった。	マニュアルは作成しているが、それを生かした訓練ができなかった。	年間計画を作成し、訓練を行って、利用家族にも知らせる。
2	PDCAサイクルが十分行われていない。	計画作成・振り返りの職員全体への周知が不足していた。	長期計画を作成し、余裕を持った計画、振り返りを行う。
3	事業所以外の子どもとの交流や保護者同士の交流が少ない。	同じ法人内の放ディとの交流行事は年1回実施しているが、保護者の交流はあまり行われなかった。 児童館等との交流は行っていない。	他の放ディと、児童だけでなく、保護者の交流機会を持つ。 長期休み等に、児童館との交流も考えたい。